

第5回北広島市総合計画推進委員会 会議録

日 時	平成 25 年 5 月 22 日（水）13:30～15:30
会 場	市役所本庁舎 2 階会議室
出席委員	天羽 浩委員、澤井将美委員、鈴木聡士委員、東 愛子委員、桂 裕章委員
欠席委員	なし
市出席者	高橋孝一企画財政部長 【政策調整課】川村裕樹課長、志村 敦主査、貝森博樹主事 【行政推進課】川口昭広課長、杉山正一主査 【財 政 課】中屋 直課長、奥山俊明主査

1. 開会

「委員の過半数が出席していることから、委員会が成立していること」を確認した。

2. 新任委員の紹介

湯川委員の退任に伴い、東委員が新任委員として紹介された。

3. 会議録署名委員の選出

委員長の指名により、桂委員を第 5 回推進計画委員会会議録の署名委員としたい旨提案があり、了承された。

4. 議事

【議案 1】平成 25 年度の委員会について

事務局から、配布資料に基づき今年度のスケジュール等について説明した後、質疑、意見交換を行った。

○委員長 まず、今年度の委員会の進め方について質疑があればお願いしたい。

○A委員 25 年度で 2 つの重点プロジェクトの検討を行うということだが、委員会での提言への持っていき方が少し上滑りしているように感じるため、もう少し中身に突っ込んで行うべきでないのかなと思う。昨年度に取り組んだプロジェクトの事業数と今回のプロジェクトの事業数を比較しても拮抗していることから、じっくり行うべきでないのかと考える。

また、にぎわい・魅力づくりプロジェクトは、担当事務局のヒアリング等を行った上で委員会を進めていくべきと考える。

残りの 2 つの重点プロジェクトの検討は少し無理があるように思う。

○委員長 進め方については非常に重要なポイントだと思うので、ほかの委員からも意見を頂いた上で決めていきたい。

第5回北広島市総合計画推進委員会 会議録

- B委員 先ほど事業数の比較があったが、金額的に差があるので、これらを全て同列に扱う必要もないのかと思う。例えば金額の大きい事業だけを何点かだけ、ヒアリング等を行うことを検討するという様なことであれば、2つのプロジェクトをやるということも可能と考える。
- A委員 事業の中身をみると若干重複している事業もあるが、もう少し事業の中身そのものをしっかりと捉えた中で政策の提言ができれば良いと考える。
事務局は今年度2つの重点プロジェクトを進めたいという意向だが、何か理由があるのか。
- 事務局 平成27年度に総合計画の中間年として見直しを行う予定があるが、その時まで、3つのプロジェクトの検討結果を盛り込んだ提言を頂き、見直す際の資料にしたいため、今年度に2つのプロジェクトを進めていきたいと考えている。
また、昨年いろいろ議論して頂いた中で提言書に向けた議論の方法などが、ある程度明確になったが、担当部局からのヒアリングを行うということであれば、2つのプロジェクトを議論するというのは日程的には難しいかと思う。
スケジュールを組み直すことも可能であるので、委員会として議論して頂くために最適な方法を事務局としてもサポートしたいと考えている。
- C委員 担当部局の考え方というものを聞いてみたいと思うので、ヒアリングを入れながらやって頂ければ、良いものになるのではないかと感じる。
- 委員長 いろいろとご意見をいただき、参考になった。
今年度に2つのプロジェクトを進めるのは難しいかもしれないが、まずは、このスケジュール案でいきたいと思っている。しかし、議論の中でヒアリング等が必要であれば、随時行いながら、状況に合わせて臨機応変に対応することで進めていく。

【議案2】にぎわい・魅力づくりプロジェクトについて

事務局から、検討資料について説明した後、質疑、意見交換を行った。

- 委員長 事務局の説明への質疑応答、資料の要求等を含めた意見交換をしたい。
- A委員 北広島クラスター構想事業についての資料があれば提示頂きたい。
- 事務局 北広島クラスター構想事業は、市長の2期目のマニフェストに載った事業で、産学官という形で懇談会を設けている。また、アンケートを実施し、その結果を集約したところで終わっている。そのアンケート結果等があれば提供する。

第5回北広島市総合計画推進委員会 会議録

- B委員 事業費がゼロとなっている事業は、どのように理解すればいいか。
- 事務局 現在、計画中や、検討中というもので予算を伴わない事業である。
今後、担当部局での検討の結果、事業費が発生する場合もある。
- B委員 その事業費というのは、直接外部に支出を伴うという意味での事業費か。
人件費は含まれないのか。
- 事務局 事業費については、人件費は含まれていない。事務事業評価調書には人件費を目安で載せている。
- B委員 学校跡地利活用検討事業は、25年度予算で3億8000万円となっており、金額ベースでプロジェクト全体の9割くらいを占めているので、詳しく聞きたい。
- 事務局 予算の3億8000万円のほとんどは工事費である。内訳等含めて次回までに整理したものを用意する。なお、この額は緑陽小学校、広葉小学校の2校のうちの市直営の運営施設となる広葉小学校跡施設の改修工事費分である。
- B委員 今後、市内の小・中学校で廃校にするような計画はあるのか。
- 事務局 団地内の2つの中学校も今後統合の可能性はあるが、現段階でそのような計画はない。
- C委員 きたひろしまシティセールス事業について、資料があればお願いしたい。
- 事務局 シティセールスに対していろいろなプランをまとめたものがあるので、それを資料としてお渡ししたい。
- D委員 いくつかの事業について参加者数を明記していたが、年齢層や市内外どちらから参加された等の具体的な参加者の内訳を知りたい。
- 委員長 各種事業の全体的なアクセス数や参加人数の属性も併せてわかると、いろいろな提言につながると考える。
- 事務局 にぎわい・魅力づくりプロジェクトということで、交流人口の増加に向けて各種事業を開催しているが、参加者の分析や傾向をつかめずに次の施策に生かされていなくても事実である。
担当課がどのように把握しているのかを含めて調査して、資料をまとめたい。

第5回北広島市総合計画推進委員会 会議録

- 委員長 事業の戦略を練る際、何人来ただけでは練りづらいこともあるので、参加者の性質把握と分析がなされていなければ、そうすべきであるということを提言に盛り込む必要も出てくる。
- 例えばある事業の参加者が宿泊を伴う場合、北広島にお金を落としてくれる可能性も大きくなるなど、「人数」だけで測りきれない部分も多々あると思うので、可能な範囲で資料を出して頂きたい。
- また、各担当課には次につながるためのデータ収集というのも少し意識して頂ければと考える。
- D委員 資料ではシティセールス事業は平成25年度で終わるように見えるが、どうなのか。
- この事業は魅力があり興味深いと感じるが、なぜ終わってしまうのか。
- A委員 シティセールス事業は本来、時限的な事業ではないと考える。市の人口増加との関連からも、もっと市の核となる事業であり、継続すべき事業であると感じる。もともと時限的な事業だったのか、どのような効果を求めていたのか説明してほしい。
- 事務局 誤植で資料の表記が終了となっているが終了ではなく、お詫びして訂正する。
- もともとシティセールス事業は国の交付金を受けて3年前にスタートし、アクションプラン等を掲げてすすめてきた。今までは、「シティセールス」イコール観光や食の開発などを中心に展開していたが、年々人口も減ってきている中でまちのPRイコール観光だけではないと考えている。子育てや教育なども全て含めてのシティセールスを、上手くできないかということで、現在所管している経済部だけでなく、企画財政部も含めて進めていくこととしている。
- C委員 シティセールス事業は、とても力を入れている事業として認識している。説明のあったように一つの部局に収まらない形が非常に望ましいと考える。
- また、担当課の方に一度説明して頂くことを希望する。
- B委員 企業誘致推進事業について、現在大曲地区が非常に栄えてきているが、市の努力によって大曲方面の企業誘致が成功しているのか、それとは全く関係なく地域的な特性があって企業が進出してきているのかというところをご説明いただければと思う。

第5回北広島市総合計画推進委員会 会議録

- 事務局　　ここでいう企業誘致推進事業というのは市で造成している輪厚工業団地、共栄工業団地の中に優良な企業を持ち込むということを目的としている。大曲方面に民間の企業が進出してきているという部分については、いわゆる市街化区域内の用途上商業という地域の中に企業が進出してきたことになるので、この事業には含まれていない。
- A委員　　サイクルネットワーク構築事業について、サイクリングロードルートの交通関係の事情から実現出来ていないということだが、構想も含めて何か具体的な資料を頂きたい。
- 事務局　　第4次総合計画において、自転車を使ったまちづくりということを重点プランの1つとして、市内のサイクリングネットワークの整備を進めてはみたが、ハード的な整備が追いつかず、構想段階で終わってしまっている。
- また長沼町などの地域との広域的なサイクルネットワークをつくるという道央馬追サイクルネットワーク構想を検討して構想まではまとめたが、道路交通面の課題から中途段階となっている。
- 市内のサイクルネットワークについて、再度練り直して形にしたいということで検討しており、対外的にお出しできるものは無いが、前回の総合計画でこういったものを考えていた、というものを資料として提供する。
- A委員　　プロジェクトの事業は、市の単独事業か。法律性に伴う法令上の義務事業はないのか。その部分の整理をお願いしたい。
- 事務局　　ほぼ単独事業であるが、整理して資料を提供する。
- 委員長　　このような魅力づくり等の成功事例として、札幌の大通まちづくり会社がある。特に札幌駅前にJRタワーができた後に、大通が少し沈下していったときにソフト政策を考え、さまざまなイベントを成功させている。
- 北広島市にもそういうまちづくり会社のようなものの運営や実績、構想等があれば、資料や情報を頂きたい。
- 事務局　　現段階でそういった構想等はない。そのような先進地の部分も含めて、市での新しい取り組みはない。
- 委員長　　駅周辺まちづくり推進事業について、今どのようなプロジェクトがあって、どのようなイメージになっているのかというのがわかる資料があれば、参考にしたい。
- 事務局　　説明できる範囲の資料を作成する。

第5回北広島市総合計画推進委員会 会議録

- 委員長　　今、皆様の議論の中でかなり集中したのが、北広島シティセールス事業についてであり、にぎわい・魅力づくりプロジェクトの中でも非常に重要である、というようなご意見を頂いた。
- そこで、このシティセールス事業については、資料を出して頂くのに加えて、もし可能であれば担当部局の方から状況等の説明して頂いた上で、各委員からさらに深い意見等を頂きたいと思うので、手配をお願いしたい。
- 事務局　　今回要求のあった資料については、できたものから順次送らせて頂く。
　　シティセールス事業のヒアリングも担当と打ち合わせして準備を進めていく。
- 委員長　　事務局への提言シートは、提言書をつくるうえで非常に重要な資料になるので提出して頂きたい。

5. その他（次回開催日程についてなど）

- 次回の推進委員会は6月25日（火）午前9時から開催することとした。
- 今後の意見等の提出について、Eメール等で提言シートの活用により効率的に行うこととし、6月10日までに事務局へ提出することとした。

6. 閉会